

信濃美術館の整備にかかる 「第2回県民フォーラム」概要

県民文化部文化政策課
信濃美術館整備室

日時：平成29年10月28（土）午前10時から12時

場所：長野市生涯学習センター 4階 大学習室1

参加者：70名

概要

主な意見等（アンケートへの回答を含む）

【全体】

- 設計者の丁寧な説明を聞くことができ設計素案の内容がよく分かった。立派な美術館ができることを望んでいる。
- 模型を見せてもらい、より具体的にイメージできてよかった。
- 県民の意見にしっかり耳を傾けた設計である。
- 県民リレー・ワークショップの意見が設計素案に取り入れられていてうれしい。
- 視覚障がい者には分かりにくい説明だった。
- 館長予定者の松本さんの新美術館への思いが分ってよかった。望ましい姿を走りながら追い求めてほしい。

【基本設計素案】

- 「屋根のある公園」の考え方に感動した。
- 公園とつながったオープンスペースが設けられていてすばらしい。
- オープンスペースが広いと空調などのランニングコストがかかるかもしれないが、すばらしいコンセプトなので、様々な取組を切り詰めることのないように県民のために開放してほしい。
- 交流スペース1階にある地下との吹き抜けの位置が奥過ぎる。地下の県民ギャラリーが公園から切り離されている印象を受ける。
- 地下にある県民ギャラリーに自然光を取り入れることはできないか。
- 屋上広場に常に人が出入り可能だとすれば、管理が大変ではないか。
- 美術館は観光資源として期待されている。プロポーザル案にあった善光寺と美術館を結ぶ連絡ブリッジはなくなったのか。

- 設計素案では学芸員の事務スペースが確認できないが、スタッフが働きやすい必要なスペースを確保してほしい。
- 設計者の設計への向き合い方がすばらしい。これからも応援団の一員として見守っていききたい。ぐるりん号の延伸など住民と同じ発想を持っていてうれしい。
- 城山公園と一体化した施設であってほしい。
- スカイツリーのようなシンボリックなデザインを期待したが、むしろシンプル・イズ・ベスト、非常におもしろい設計。全国に発信できる建物を期待している。
- 建物にいたずらされるのはつらい。部分的に仕上げを取り替えられるようにできないか。
- 建物に使う素材や色、質感を知りたい。

【運営・管理】

- 長野県で国宝や重要文化財などの展覧会が見たい。
- 県内他館ではできない基幹的役割を期待している。
- 長野県の芸術拠点としての美術館。つまり県内で活動する芸術家をサポートする美術館の面と、長野県の芸術に刺激を与え、県民に親しんでもらえるテーマを持った企画展が行える場であってほしい。
- 若手アーティストの育成にも目を向けてほしい。
- 県民ギャラリーや多目的ホールの利用料金は、庶民的なリーズナブルな額にしてほしい。
- 学芸員が固定されると行き詰まる。他館の学芸員と人事交流をしてほしい。
- 運営は指定管理者だが、県も運営に積極的に関わってほしい。予算が少ないと魅力的な企画ができない。

【公園】

- 設計者が考える「望ましい城山公園の姿」を知りたい。
- 展示を見終えた後、外に出ると落ち着かせてくれる公園になるとよい。
- 公園自体も屋外展示などに使えたらよい。

(以上)